

2021年度

(令和3年度)

教育委員会の事務の点検及び評価報告書

令和4年7月

舟橋村教育委員会

目 次

I	教育委員会の「教育に関する点検及び評価」について	1
1	趣 旨	
2	対 象	
3	方 法	
	(1) 自己点検・評価	
	(2) 学識経験者の知見の活用	
II	点検及び評価	
1	教育委員会の運営状況	
	(1) 組織等	
	(2) 教育長、教育委員、会議等の状況	2
	(3) 成果と課題（総括）	3
2	主要施策事業	4
	(1) 事業一覧	
	(2) 事業別の成果と課題	5
3	学識経験者の意見	19
	(学校教育、生涯学習・社会教育、スポーツ振興の観点から)	

I 教育委員会の「教育に関する点検及び評価」について

1 趣 旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進と、地域住民への説明責任を果たしていくため、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行について点検及び評価（以下、「点検・評価」という。）を実施する。

2 対 象

令和3年度の教育委員会の運営状況及び事務事業の執行状況

3 方 法

(1) 自己点検・評価

令和3年3月に改定した「第5次舟橋村総合計画」、「舟橋村教育大綱」及び舟橋村の教育指導方針に基づき、令和3年度の主な教育委員会の事業運営状況、事務事業の執行状況について点検・評価を行う。

(2) 学識経験者の知見の活用

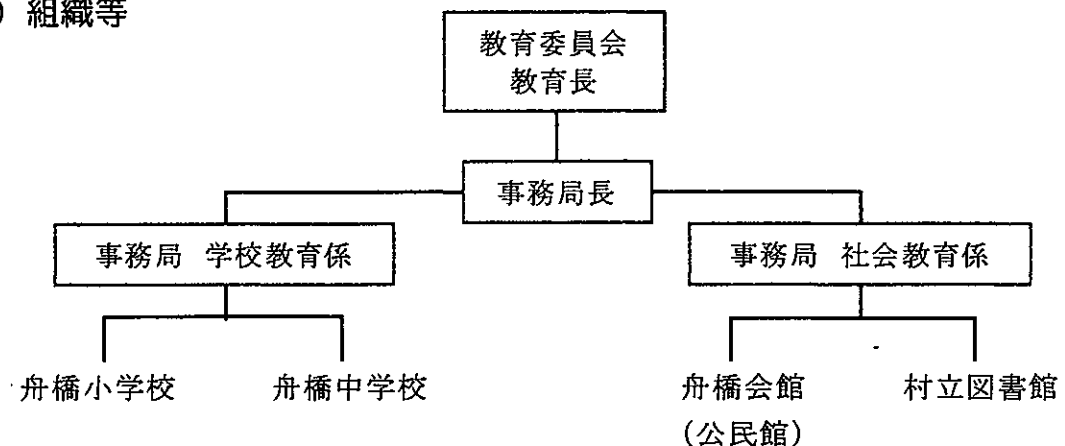
自己点検・評価に対する意見を以下の学識経験者に聴き、本書に記載する。

学識経験者名	宮 田 徹
職業・職歴	富山国際大学 子ども育成学部長 教授

II 点検及び評価

1 教育委員会の運営状況

(1) 組織等



(2) 教育長・教育委員、会議等の状況

ア 教育長及び教育委員（任期；教育長3年、委員4年）

（令和3年10月1日現在）

職名	氏名	就任期間	備考
教育長	早川 誠一	R1.10.1 ~ R4.9.30	常勤
教育長職務代理者	大上 和雄	R3.3.15 ~ R7.3.14	非常勤
教育委員	堀田 早苗	R3.10.1 ~ R7.9.30	非常勤
教育委員	喜渡 浩明	H30.12.29 ~ R4.12.28	非常勤
教育委員	野村 覚	R1.10.1 ~ R5.9.30	非常勤

（現委員の構成）

- ・年齢；60歳代2名、50歳代1名、40歳代1名
- ・性別；男性3名、女性1名
- ・職業；会社員3名、無職1名 ※保護者1名を含む。

イ 教育委員会の開催状況（回数；定例会11回）

会議に付された主な項目

- ・教育関係予算
- ・学校運営及び教育活動
- ・児童生徒の就学、援助等
- ・学校教職員の負担軽減策
- ・生涯学習・社会教育事業（公民館、図書館、スポーツ含む）
- ・地域学校協働活動（ふなはし村民大会含む）
- ・新型コロナウイルス感染症対策

ウ 主な活動状況

会議・行事名	回数・月日	場所	出席状況
村議会	定例4回 6, 9, 12, 3月 臨時2回 11, 2月	村議会議場	教育長
村総合教育会議	3回 7/28, 12/23, 3/24	村役場	教育長 委員4名
立山区域地域ぐるみ教育研究会	1回 10/9（中止）	立山中央小	
中新川郡地方教育委員会連絡協議会	1回 7月（中止）	舟橋村	
縣市町村教育委員会連合会	1回 7/16 (10月は中止)	富山市、氷見市	教育長 委員4名
縣市町村教育長会	2回 7/9, 2/22	富山市	

東部教育事務所 管内教育長会	3回 5/17, 11/29, 2/2	富山市	教育長
東海北陸地区町村教育長 研究協議会	1回 8/19 (オンライン会議)	富山県	教育長
全国町村教育長会	1回 5/6, 7 (中止)	東京都	

○ その他の活動状況

- ・ ふなはし村民大会 (11/3) に全教育委員参加
- ・ 教育長のみ出席し定例会で報告した学校行事
(入学式、運動会、学習発表会、卒業式等)
- ・ 成人式には、教育長と同職務代理が出席

(3) 成果と課題

- ・ 学校教育・社会教育の運営状況を定期的に確認し、課題について協議した。
- ・ 新型コロナウイルスの感染が終息しておらず、当初計画した事業を中止や延期、または縮小して実施した。(Ⅱ 2 (2) 事業別資料参照)

<新型コロナウイルス感染症対策>

学校・施設とも、引き続き基本的予防行動(マスク着用、検温、消毒、換気等)と密集を避けるための場所の使い方等を工夫してきた。

県内では3度のステージ2と8月中旬には初のステージ3となり、富山市がまん延防止重点措置の対象となった。その後、10月下旬から感染者0人の日が続いたが、12月下旬に新変異株(オミクロン株)が初めて確認され、第6波となり、3月2日には新規感染者が最多の628人となった。(3月31日までの感染者の累計は県27,875人、村219人)

このため、2月中にふなはしこども園、3月中旬に舟橋小学校を臨時休園・校して感染拡大を最小限に留める対策をした。

<本年度の成果>

学校教育面では、本年度をGIGAスクール構想元年と位置付け、昨年度に整備できたICTツールを効果的に活用するため、小中学校で実践と研修に取り組んだ。そして「9年間の情報カリキュラム」を作成した。

また、教職員に勤務負担の意識調査をし、負担軽減策の工程管理表を作成して、業務的・物理的な対策を進めた。

社会教育面では、地域ぐるみ教育体制を構築するため、4月に「ふなはしテトラ協働本部(地域学校協働本部)」を設置し、延期していた「ふなはし村民大会」を11月に開催することができた。

<次年度の課題>

- ・ 新型コロナウイルス感染症対策の継続
- ・ 小中学校合同の学校運営協議会の立ち上げと地域学校協働との連携
- ・ 学校教職員の負担軽減策の継続(中学校の部活動改革を含む)
- ・ 成人年齢の引き下げに伴う「はたちのつどい」の3月開催

2 主要施策事業

(1) 事業一覧

主要施策事業名	担当係等
<p>【教育大綱 基本方針1】 ～ 学校教育の充実 ～ 一貫性と独自性のある学校教育を通して、よりよい地域社会を創るという理念を学校と地域が共有し、子供たちが夢と志をもち、可能性に挑戦するために必要となる力を育む。</p>	
<p>○学校教育、学校施設 1-1 小中一貫教育（詳細を研究紀要に記載） 1-2 幼児教育との接続（追加） 1-3 ICT教育 1-4 地域と連携した教育活動 1-5 体力向上、健康管理 1-6 食育 1-7 施設・整備</p>	<p>小・中学校 学校教育係 学校教育係 学校教育係 学校・社会教育係 学校教育係 学校教育係</p>
<p>【教育大綱 基本方針2】 ～ 生涯学習・生涯スポーツの推進 ～ 舟橋会館や村立図書館の機能を充実し、学習機会の創出に努めるとともに、文化的な活動やスポーツ活動に村民が主体的に取り組むことができる環境整備を図る。</p>	
<p>（詳細を「生涯学習のあゆみ」に記載）</p>	
<p>○生涯学習・社会教育 2-1 生涯学習・社会教育事業 2-2 舟橋会館（公民館）事業 2-3 舟橋村立図書館の運営 2-4 スポーツ振興 2-5 国際交流事業 2-6 各種団体育成</p>	<p>社会教育係 //（舟橋会館） //（図書館） // 学校・社会教育係 社会教育係</p>
<p>【教育大綱 基本方針3】 ～ 地域学校協働活動の定着 ～ 学校・家庭と共に、地域ぐるみで次世代を担う子供たちの基本的な社会性や豊かな人間性を育む青少年活動の充実と教育風土の醸成に努める。</p>	
<p>○地域ぐるみの青少年健全育成活動</p>	<p>社会教育係</p>

(2) 事業別の成果と課題

(1-1)

令和3年度 主要施策事業の実績表

施策の分野	学校教育
担当係	学校教育係(小中学校を含む)、社会教育係(村立図書館)

1 目標とする指標及び達成のための実施内容と結果

教育大綱の位置付け	基本方針1 ～学校教育の充実～	
目標とする指標	小中一貫教育(学力向上を含む)	
具体的な施策・事業名	本年度の実績	次年度の目標
【一貫教育】 ・小中合同授業 ・小中教員合同研修 ・一貫カリキュラムの展開 ・学力向上の取組 【小学校】 ・中1の読み聞かせ 【中学校】 ・小6部活動体験 ・小6・中1外国語科授業交流	・小6・中3 総合 コロナのため中止 ・12/2 小5・中2「学校保健委員会」 ・8月「9年間の情報カリキュラム」作成 ・言語活動、道徳科、総合、キャリア教育 ・「ふなはし『学び合い』スタイル」の授業展開 ・9/22 全学年での実施(ビデオ放映) (村立図書館での講習後) ・コロナのため中止 ・1/28 入学説明会の日に実施	・再開 ・継続実施 ・継続実施 ・継続実施 ・継続実施 ・継続実施 ・再開 ・継続実施

2 成果と課題

【成果】 ・「学校保健委員会」では、「目にやさしい生活をしよう」のテーマで合同学習を行った。小5児童と中2生徒の発達段階や習熟度の違いがあるからこそできる学び合いがあった。生徒は「何をどのように学ぶか」を考え、児童の意見を引き出すために工夫することができた。 ・小6・中1の外国語科授業の交流活動では、異学年による学び合いの場を設け、相手を意識した言語活動の充実を図ることができた。 ・小中教員合同研修において、「9年間の情報カリキュラム」を作成したことにより、教員のICT活用の意識が高まった。子供たちのそれぞれの段階の身に付けさせたいスキルが明確になったことがよかった。
【課題】 ・学力向上の軸となる「自ら考え、共に学び合う子供の育成」を目指し、日々の授業の中で「ふなはし『学び合い』スタイル」を意識し、「話す・聞く・読む・書く」の力の更なる定着を図ることや、ICT機器を含む学習ツールの効果的な活用を図っていく。

令和3年度 主要施策事業の実績表

施策の分野	学校教育
担当係	学校教育係、小学校

1 目標とする指標及び達成のための実施内容と結果

教育大綱の位置付け	基本方針1 ～ 学校教育の充実 ～	
目標とする指標	幼児教育との接続	
具体的な施策・事業名	本年度の実績	次年度の目標
【就学前の情報共有】 ・認定こども園の視察等 【就学指導】 ・就学时健康診断 ・就学指導委員会 【スタートカリキュラム】 ・生活指導 ・教科学習	・8/5、9/28、10/26、2/10、3/31 ・10/28 実施(35名参加) ・学校医、特別支援学校、教育事務所、こども園、保健師による協議 ・トイレの使い方、食事の仕方、掃除の仕方、物の片付け方等 ・絵本の読み聞かせ(国語科) ・仲間づくり、学校探検(生活科) ・手遊び歌(音楽科) ・こども園担任の参観と情報交換	・継続実施 ・様々な教員で視察する。 ・継続実施 ・継続実施 ・継続実施 ・教科指導や生活指導の中で他学年とも交流する機会を設ける。

2 成果と課題

【成果】 ・就学前から子供の様子を観察し、こども園の担任と情報交換できたため、入学してすぐに対応することができた。特に、身体的に配慮が必要な子供については、座席の配置や環境の整備等の準備をすることができた。
【課題】 ・就学指導委員会等で子供の様子の共通理解は図られていたが、実際にいろいろな教員がこども園を視察し実態把握に努めることで、より円滑な接続につながられると考える。そして、1年生担任だけでなく、全ての教員・児童を合わせた学校全体でスタートカリキュラムを支えられるようにしたい。

令和3年度 主要施策事業の実績表

施策の分野	学校教育
担当係	学校教育係(小中学校を含む)

1 目標とする指標及び達成のための実施内容と結果

教育大綱の位置付け	基本方針1 ～学校教育の充実～	
目標とする指標	ICT教育	
具体的な施策・事業名	本年度の実績	次年度の目標
【整備状況】 ・教室への整備 ・児童生徒への整備 ・教職員への整備 【ICT活用授業の研究】 ・小学校 ・中学校 【教員の研修】 ・小中学校	・大型テレビ(小2台) ・特別教室用プロジェクター(中1台) ・なし ・行幸用プロジェクター (小中各1台) ・行幸用ビデオカメラ(中1台) ・全学年;算数科 ・全学年(教育事務所訪問研修) ・8月;小中教員合同研修 「9年間の情報カリキュラム」の作成	・不足分の整備 (書画カメラ・ 大型テレビ等) ・小タブレット端末 50台更新 ・付属品 ・中タブレット端末 35台更新 ・付属品 ・継続実施 ・継続実施 ・継続実施

2 成果と課題

【成果】 ・タブレットを用いた学習により、学習意欲が増して学ぶ楽しさを感じた子供が多いことがうかがえた。 ・小中教員合同研修において、「9年間の情報カリキュラム」を作成したことにより、教員のICT活用の意識が高まった。子供たちそれぞれの段階の身に付けさせたいスキルが明確になったことがよかった。 【課題】 ・学力向上の土台となる基礎・基本の定着を図るため、また、子供たちが主体的に活動したくなるような授業を展開するため、ICT機器を含む学習ツールの効果的な活用について検討していかなくてはならない。

令和3年度 主要施策事業の実績表

施策の分野	学校教育
担当係	学校教育係(小中学校を含む)

1 目標とする指標及び達成のための実施内容と結果

教育大綱の位置付け	基本方針1 ～学校教育の充実～	
目標とする指標	地域と連携した教育活動	
具体的な施策・事業名	本年度の実績	次年度の目標
【総合的な学習の時間】 (小学校)「舟っ子タイム」の観点 ・3年生;地域、自然、人 ・4年生;防災、安全 ・5年生;地域、環境、自然 ・6年生;地域、自然 (中学校) ・1年生;村立図書館との連携 ・2年生;地域での職業体験 ・3年生;社会福祉活動 【その他の活動】 ・小学校全学年;農家との交流 ・中学校全学年;ボランティア体験	・地域の農業の理解・体験 ・地域安全、防災 ・環境保護活動 ・環境保護活動 ・小学校での読み聞かせ (ビデオにて実施) ・14歳の挑戦(半日×3日) ・手作り絵本の提供 ・収穫体験、農業についての話 ・校内での募金活動、ペットボトル キャンプ、書き損じハガキの回収	・継続実施 ・継続実施 ・継続実施 ・継続実施 ・継続実施 ・継続実施 ・継続実施 ・継続実施

2 成果と課題

【成果】 ・地域の人々の仕事や村に対する思いを知り、自分たちの村に対する思いや仕事に取り組む姿勢について見つめ直すことができた。 ・さらに安全・安心な村になるように、実態調査・情報収集して、安全マップを作った。さらによりよい村を自分たちの手でつくっていかうとする思いをもつことにつながった。 ・細川・竹鼻用水の環境保護活動を継続して行い、村の自然のよさを多くの人に伝えたいという思いが強くなり、広報活動にも取り組んだ。 ・竹鼻リバーサイドパークの環境保全活動を行い、もっとよい環境にして村の人たちに来てもらえる公園にしたいと活動に取り組んだ。(看板設置、花壇の充実) ・子供たちは、多様な人々との関わりの中で、相手の立場に立って考えることの大切さに気付くことができた。マナーや言葉遣いについてなど体験の中で学ぶことができた。 ・外部の方との連絡・調整に「ふなはしテトラ協働本部」を活用し、負担軽減が図れた。
【課題】 ・新型コロナウイルス感染症の影響があり、地域の方々との交流について、継続して検討しなければならない。特に年配の方との交流が難しい。 ・舟橋村独自の活動に加え、県から類似の活動を要請される場合は、授業時数確保の面からも負担にならないように、その都度協議して精選する。

令和3年度 主要施策事業の実績表

施策の分野	学校教育
担当係	学校教育係(小中学校を含む)、社会教育係

1 目標とする指標及び達成のための実施内容と結果

教育大綱の位置付け	基本方針1 ～学校教育の充実～	
目標とする指標	体力向上、健康管理	
具体的な施策・事業名	本年度の実績	次年度の目標
【小学校】 ・体育的行事 (水泳記録会、運動会、縄跳び大会) ・「みんなでチャレンジ 3015」 ・体力向上推進事業 ・「夢の教室」	・運動会、縄跳び大会実施 ・水泳記録会中止 ・達成率 <u>89.5 %</u> ・講師を招聘して実施 (全学年対象) ・一部コロナのため中止 ・コロナのため中止	・継続実施 ・継続実施 ・小中学校と保育 2園で実施 (拡充) ・事業終了
【中学校】 ・運動部活動 (野球、テニス、卓球、バスケットボール、 校外活動部)	・所属 86名/121名 北信越総合競技大会 水泳競技女子 100m 自由形 8位 岩澤木綿 北信越中学生テニス選手 権大会 男女団体出場	・継続実施 ・在り方の見直し
【共通】 ・立腰(姿勢)による健康づくり ・地域学校保健委員会実施	・「目にやさしい生活をしよう」	・継続実施 ・継続実施

2 成果と課題

【成果】 ・本年度もコロナ禍の中、開催時期や方法等を工夫して実施をした。 ・地域学校保健委員会(小5と中2の合同学習)では、目の保護習慣について考え、学校医から講義を聴いて学んだ。電子画面を見る機会が増えたことから有意義な時間だった。 ・中学校部活動の在り方に係る懇談会を3回開き、本村独自の改革を協議した。その結果、令和4年度から全員加入制の撤廃と練習を週4日(週末なし)とすることとした。
【課題】 ・部活動在り方懇談会を継続し、令和5年度以降の方針を決める。

令和3年度 主要施策事業の実績表

施策の分野	学校教育
担当係	学校教育係(小中学校を含む)

1 目標とする指標及び達成のための実施内容と結果

教育大綱の位置付け	基本方針1 ～学校教育の充実～	
目標とする指標	食育	
具体的な施策・事業名	本年度の実績	次年度の目標
【小学校】 ・農業体験学習 【中学校】 【共通】 ・日常の給食指導 ・エコ給食 ・学校給食ふなはしの日 ・学校給食週間	・空豆の収穫体験(2・3・6年生) ・ネギの収穫体験(3年生) ・有機野菜の畑見学(3年生) ・学校給食の変遷に関するポスター作り ・立腰の呼びかけ ・村内産有機野菜の給食(5回) ・村内産野菜の給食 ・食文化への理解と感謝 ・食生活の改善	・継続実施 ・継続実施 ・継続実施 ・継続実施 ・継続実施 ・継続実施 ・継続実施 ・継続実施

2 成果と課題

【成果】 ・「エコ給食」では、給食の実施に合わせて村内産有機野菜の実物を展示することで、児童生徒が実物に触れ、環境にやさしい「有機野菜」が村で育てられていることを実感することができた。 ・「学校給食ふなはしの日」では、村内産野菜の生産者に、給食委員会が「育てる上での苦労」や「収穫する時間や人数」等をインタビューした。その内容を掲示して全校に知らせたことで、給食の中に村内産野菜があることを実感し、給食への関心を高めることができた。 ・ネギ等を実際に収穫することで、収穫の楽しさや出荷作業の大変さなど、生産者の方の苦労に気付くことができ、感謝して食べようという思いをもつことができた。 ・学校給食週間に、保護者が印象に残っている給食のアンケートを実施し、メニューに取り入れたことで、家族で給食について話をする機会をつくることができた。
【課題】 ・ネギの収穫体験では、植え付けや機械で皮をはぐ作業を見学できるとよい。コロナ禍以降に実現したい。 ・収穫体験は内容、時期を決め、計画的に実施できるとよい。 ・指導してくださる方の確保が年々難しいので、「ふなはしテトラ協働本部」を活用していく。 ・食事の際の立腰の指導を徹底して、マナーや食への感謝の意識を高めたい。

令和3年度 主要施策事業の実績表

施策の分野	学校施設
担当係	学校教育係

1 目標とする指標及び達成のための実施内容と結果

教育大綱の位置付け	基本方針1 ～学校教育の充実～	
目標とする指標	施設・設備	
具体的な施策・事業名	本年度の実績	次年度の目標
【小学校】 ・工事 ・修繕 ・設備 【中学校】 ・工事 ・修繕 ・設備	・放送設備更新工事 ・網戸取付修繕(コロナ対応)、空調設備修繕 他 25 件 ・空気清浄機、非接触型検知機(コロナ対応) 他 6 件 ・体育館渡り廊下屋根補修工事, 3 階学習室間仕切り改修工事 他 3 件 ・空調設備修繕、給食室設備修繕 他 24 件 ・空気清浄機(コロナ対応)、下足箱棚 他 13 件	・屋外スピーカー更新工事 他 2 件 ・予算内で随時実施 ・予算内で実施 ・体育館照明 LED 化改修工事 他 2 件 ・予算内で随時実施 ・予算内で実施

2 成果と課題

【成果】 ・児童生徒の安全を第一とし、校舎の修繕をはじめ、時代に即した教育環境の整備を図るとともに、児童生徒が楽しく安心して学校生活を送れるよう施設設備の管理に努めた。 ・新型コロナウイルス感染症の対応として、国補助金を活用し、網戸取付修繕や必要な備品(空気清浄機、非接触型検知機等)の購入を行った。
【課題】 ・次年度予算として、小学校の屋外スピーカー更新工事や中学校の体育館照明 LED 化改修工事等や修繕費等を計上しているが、社会状況の変化や経年劣化により、修繕箇所が増加すると思われる。限られた予算の中で、優先順位を決めて実施していかなければならない。

令和3年度 主要施策事業の実績表

施策の分野	生涯学習・社会教育
担当係	社会教育係

1 目標とする指標及び達成のための実施内容と結果

教育大綱の位置付け	基本方針2 ～生涯学習・生涯スポーツの推進～	
目標とする指標	生涯学習・社会教育事業	
具体的な施策・事業名	本年度の実績	次年度の目標
【家庭教育】 親を学び伝えるプログラム (小中学校、子育て支援センターで講座開設)	・11/10(中学校) 各家庭にて実施 ・12/9(小学校) 育成会役員のみで実施 ・11/26・12/17(支援センター) 利用者に実施	・継続実施 ・継続実施 ・継続実施
【青少年教育】 ・放課後子ども教室 村事業名「子どもかがやき教室」 ・ふなはし村民大会 (以上、(3)に再掲) ・はつらつ公民館学び支援事業 ・成人式	・(月) 28回実施 児童 47名登録 ・11/3(中学校体育館) 参加人数約200名 ・1/30 立山自然の家→中止 ・1/9参加人数 34名(対象者 42名)	・継続実施 ・継続実施
【その他】 ・国際交流推進事業 (2-5に詳細を記載) ・村史普及推進事業	・11/20 韓国編 参加人数 12名 ・10/10 地域探訪 参加人数 9名	・継続実施 ・継続実施

2 成果と課題

【成果】 ・「親を学び伝えるプログラム」は、毎回工夫して開催しており定着している。また、リーダー間で協力し合いながら経験者がアドバイス等を行い相談できる環境は人材育成にも繋がっている。 ・放課後子ども教室は、コロナ禍でありながらも工夫して教室を開催し、内容も充実しており、登録児童数は、前年度より10名増えた。 ・「ふなはし村民大会」では、子供たちに関わる各方面から多数の方が参加し、令和4年度からの体制(地域学校協働本部)を周知することができた。
【課題】 ・継続して実施していく事業では、内容を拡充し参加者の関心を引くものを計画立てていく。 ・「ふなはし村民大会」で呼びかけ周知を行ったものが、次年度では、学校の計画を基に各方面の協力を得、実施できるようにネットワークの更なる構築に向けて進めていく。

令和3年度 主要施策事業の実績表

施策の分野	生涯学習・社会教育
担当係	社会教育係(舟橋会館)

1 目標とする指標及び達成のための実施内容と結果

教育大綱の位置付け	基本方針2 ～生涯学習・生涯スポーツの推進～	
目標とする指標	舟橋会館(公民館)事業	
具体的な施策・事業名	本年度の実績	次年度の目標
【公民館活動】 ・公民館講座 ・村の小さな音楽会 ・村民大学「みどり学園」 〃 教養講座 【会館自主事業】 【行事開催】 ・第40回文化祭	※()は参加者・観客数 ・「わくわく農業体験」(県「はつらつ公民館学び支援事業」) 5/23、7/18、8/8、10/10、10/23 (延べ人数;子供53名、大人34名) ・各種教室 6/26 スワッグ作り教室(10名) 8/2 竹とんぼ教室(子供5名、大人11名) 12/4 リース作り教室(15名) 1/27 ます寿し作り体験教室(8名) ・2/27 コロナのため中止 ・3/5 コロナのため中止 ・7/17「知っておきたい感染症のリスクと対策」(16名) ・12/19 クリスマス・ロビーコンサート(64名) ・2/13 バレンタイン落語会 コロナのため延期 ・県民ふれあい公演 コロナのため中止 ・11/3 作品展示、ステージ発表、文化講演会 ※飲食販売は中止 (約450名参加・来場)	・継続実施 ・継続実施 (回数、内容検討) ・継続実施 ・継続実施 ・継続実施 ・全般継続維持 (回数、内容検討) ・継続実施 (内容検討)

2 成果と課題

【成果】 ・より多く集客するための対策として、事業ごとに対象者を絞り、内容を工夫して各種講座やコンサート等を実施した。その結果、これまで以上に親子、若い女性、男性、40～50代等の幅広い層の参加があった。今後も各層のニーズを捉え、魅力ある講座やイベントを実施するとともに、参加意欲を高めるようなチラシやポスターを作成する等、周知・広報に努めていきたい。 【課題】 ・新型コロナウイルス感染拡大により2月中旬以降の事業は中止・延期となってしまった。大きなイベントは、年間に分散して計画するよう配慮が必要である。

令和3年度 主要施策事業の実績表

施策の分野	生涯学習・社会教育
担当係	社会教育係（舟橋村立図書館）

1 目標とする指標及び達成のための実施内容と結果

教育大綱の位置付け	基本方針2 ～生涯学習・生涯スポーツの推進～	
目標とする指標	舟橋村立図書館の運営	
具体的な施策・事業名	本年度の実績	次年度の目標
【基本データ】(R3.2末現在) ・蔵書冊数 ・登録者数 ・貸出冊数 【自主事業】 ・各種おはなし会 ・コンサート ・講演会 ・上映会 ・学級招待 【学校、各種団体連携事業】 ・出前おはなし会 ・「14歳の挑戦」受け入れ ・クラス訪問 【ボランティア活動事業】 ・イソップの会おはなし会 【村民活動支援事業】 ・各種展示会 （美術会展・ガラス展・盆栽展・香悦会展）	・94,354冊（雑誌・AV資料を除く） ・11,372名（村内1,955名） ・65,206冊 ・16回（183名） ・中止 ・中止 ・中止 ・2回（77名） ・高齢者サロンへ 4回（46名） ・舟橋中学校（6名） ・36回（947名） ・4回（30名） ・美術会展（200名） 他は中止	・継続実施 ・継続実施 ・継続実施 ・継続実施 ・継続実施 ・継続実施 ・継続実施 ・継続実施 ・継続実施 ・継続実施

2 成果と課題

【成果】 ・昨年に引き続きコロナ感染症のため、事業の中止を余儀なくされたが、開館時間の短縮、貸出・返却のみの対応、短時間滞在の呼びかけ等、サービスを縮小しながらも図書館本来の機能をなんとか果たしてきた。 ・学校の先生方の協力によりクラス単位での団体貸出が昨年より増え、子供たちの読書活動を支援することができた。
【課題】 ・村民の利用率を高めるためのPR活動のあり方を工夫する。 ・小学校の電算化に伴い、連携をさらに進めるために工夫する。

令和3年度 主要施策事業の実績表

施策の分野	生涯学習・社会教育
担当係	社会教育係

1 目標とする指標及び達成のための実施内容と結果

教育大綱の位置付け	基本方針2 ～生涯学習・生涯スポーツの推進～	
目標とする指標	スポーツ振興	
具体的な施策・事業名	本年度の実績	次年度の目標
【住民運動会】 (実行委員会委託) 【体育協会】 ・ソフトボール大会 ・ビーチボール大会 ・卓球大会 ・常願寺川スポーツフェスティバル 【舟橋文化スポーツクラブ】 ・定期開催講座 ・集中講座 ・行事、大会の開催	・10/3 中止。代替として11/14「ふなはしウォーキング 2021」開催 約 120 名 ・6/27 中止 ・11/14 中止 ・2/6 中止 ・9/20 中止 ・キッズスポーツ教室 30 名 ・バドミントン 28 名 ・ヨーガ 15 名 ・キンホールスポーツ 5 名 ・フラダンス 8 名 ・かけっこ教室 中止 ・とび箱・逆上がり教室 9 名 ・ジュニアテニス教室 3 名 ・水泳教室 20 名 ・トランポフィットネス 8 名 ・産後のママのダイエット中止 ・お父さんのゆるやか筋トレ中止 ・ジュニアバスケットボール教室 10 名 ・6/6 ふなはしむらりー 48 名 ・7/24 パークゴルフ大会 15 名 ・8/8 立山登山 22 名 ・12/18 キンホールスポーツ大会 70 名 ・3/6 ユニカール大会 中止	・継続実施 ・継続実施 ・継続実施 ・継続実施 ・継続実施 ・継続実施 ・継続実施

2 成果と課題

【成果】 ・時期や開催方法等を考慮し感染防止対策を講じながら、代替事業やイベント、講座等を実施することができた。コロナ禍で自粛続きであったが無事開催できた際には、とても喜ばれたことが参加者の様子から伺えた。
【課題】 ・住民運動会について、住民アンケートを実施してニーズを把握し、内容を検討する。 ・生涯スポーツ振興の役割は大きく、コロナ禍での実施方法や内容等を検討したり、行事や教室等の周知方法を工夫したりして、各種団体がより一層連携できるように工夫する。

令和3年度 主要施策事業の実績表

施策の分野	生涯学習・社会教育(一部、学校教育を含む)
担当係	社会教育係、学校教育係(小中学校を含む)

1 目標とする指標及び達成のための実施内容と結果

教育大綱の位置付け	基本方針2 ～生涯学習・生涯スポーツの推進～	
目標とする指標	国際交流事業(再掲)	
具体的な施策・事業名	本年度の実績	次年度の目標
※ALT講師派遣委託事業 【学校教育活動】 ・小学校での外国語授業支援 (月・火・金曜日) ・中学校での外国語授業支援 (水・木曜日) 【社会教育活動】 ・国際交流推進事業	・3・4年生の授業(年 35 時間) ・5・6年生の授業(年 70 時間) ・クラブ活動(年 9 時間) ・1～3年生の授業(年 140 時間) ・特別支援級の授業(年 105 時間) ・11/20 いろんな国をまるかじり ～韓国編～ 12名	・継続実施 ・継続実施 ・継続実施

2 成果と課題

【成果】 ・異国文化(食文化)に親しむクッキングを中心に企画を行った。コロナ禍を鑑みその場で食すものではなく、調理したものを各自持ち帰り一晩寝かす「カクテキ」のレシピを中心に調理しながら知恵や文化を学んだ。募集は定員を超え、人気の講座となり、和気あいあいでの緩やかな雰囲気の中老若男女楽しめた講座となった。
【課題】 ・講座参加者の学びを深めるため、計画(年間〇回講座)を立て内容の段階や対象を絞った企画を立て進めていきたい。

令和3年度 主要施策事業の実績表

施策の分野	生涯学習・社会教育
担当係	社会教育係

1 目標とする指標及び達成のための実施内容と結果

教育大綱の位置付け	基本方針2 ～生涯学習・生涯スポーツの推進～	
目標とする指標	各種団体育成	
具体的な施策・事業名	本年度の実績	次年度の目標
【社会教育関係】 ・社会教育委員会(委員9名) ・青少年育成舟橋村民会議総会(委員24名) ・青少年育成舟橋村民会議役員会(役員3名) ・村立図書館協議会(委員7名)	・2回開催(5/25、3/22→書面開催) ・社会教育全般の協議(6/25) ・村内パトロールの実施(7/24) ・啓発活動(11/3) ・ふなはし村民大会運営の協議 ・総会、主催、共催事業、図書館運営の協議(9/30)	・継続開設 ・継続開設 ・継続支援 ・継続支援
【スポーツ振興関係】 ・体育協会(役員50名) ・舟橋文化スポーツクラブ「バンドリー」運営委員会(役員10名) ・スポーツ推進委員協議会(委員10名) ・住民運動会実行委員会(12名) 住民運動会協議会(29名)	・主催大会運営の協議(1/11) ・運営、イベントの協議 ・アウトドア・県研修会参加 ・バンドリーの企画・運営 ・実行委員会3回(決定機関) ・協議会2回(競技等検討) ・役員説明会2回	・継続支援 ・継続開設 ・継続実施 ・継続実施

2 成果と課題

【成果】 ・年度始めに毎年行われている総会等は、紙面での開催となった。また、恒例となっている各種事業も展開をすることが難しかった。その中でも、村民大会や住民運動会代替事業、各種団体の講演やイベントなどコロナの状況や村の動向等を考慮しながら、コロナ感染防止対策を講じ実施できたものもあった。
【課題】 ・コロナ禍の状況が次年度も続くと予想される中で、文化、スポーツの流れを止めないように、創意工夫し実施していきたい。

令和3年度 主要施策事業の実績表

施策の分野	生涯学習・社会教育
担当係	社会教育係

1 目標とする指標及び達成のための実施内容と結果

教育大綱の位置付け	基本方針3 ～地域学校協働活動の定着～	
目標とする指標	地域ぐるみの青少年健全育成活動	
具体的な施策・事業名	本年度の実績	次年度の目標
【青少年育成舟橋村民会議の支援】 ・教養講座 「子どもたちの新型コロナウィルス感染症」 富山大学小児科学講師種市尋宙先生 ・夏の青少年を守る運動 ・啓発活動 (子ども・若者支援強化月間中) ・ふなはし村民大会 ・啓発活動 (子ども・若者支援強化月間中)	・7/28 参加者人数14名 ・7/24 村内巡回パトロール ・啓発チラシ・ティッシュを村民大会場で配布 ・11/3 参加人数約 200 名	・継続実施 ・継続実施 ・継続実施
【地域学校協働活動推進事業】 ・ふなはしテトラ協働本部の取組 ・子どもかがやき教室(再掲)	・4/1 舟橋会館に本部を設置 地域学校協働活動の展開	・継続実施 ・継続実施

2 成果と課題

【成果】 ・ふなはし村民大会(前年度延期事業)を開催することができた。子どもに関わる各種団体や個人の方の参加を募り、今後を見据えた青少年の健全育成について地域ぐるみで取り組むネットワーク構築についての方針を周知することができた。
【課題】 ・地域学校協働活動の拡充を図るため、運営委員会を年2回開催し、年間を通じた活動実績を残せるよう計画的に協力を依頼する。 ・4年度に小中学校合同の学校運営協議会を設置し、ふなはしテトラ協働本部が核になって協働活動をより一層充実する。

3 学識経験者の意見

舟橋村教育委員会 自己点検・評価に対する意見

令和4年7月22日
宮田 徹(富山国際大学)

1 教育委員会の運営状況について

教育委員会の組織、開催状況、主な活動状況について、適切に運営されていると思います。教育委員会の構成について、年齢・性別や職業などのバランスに配慮し、幅広く社会の意見を取り入れようとしている点は、地域ぐるみで子どもたちを育てる舟橋村の教育理念の表れとして評価されます。

令和3年度の大きな成果としては、第一に、「GIGA スクール構想元年」として、小中学校で実践と研修に取り組み、「9年間の情報カリキュラム」を作成したこと、第二に、「ふなはしテトラ協働本部(地域学校 協働本部)」を設置し「ふなはし村民大会」を開催するなど、地域ぐるみ教育体制の構築・推進に取り組まれたことが挙げられます。また、長期化する新型コロナウイルス感染症の拡大を最小限に留める対策に努力されるとともに、丁寧な情報共有がされていることも評価されます。

2 主要施策事業の執行状況について

(1) 学校教育

・小中一貫教育について

村に一つの小学校・中学校が近接しているという環境を活かし、教育課程をつなぎ、異年齢合同学習など学び合いによるコミュニケーション・スキルや協働性など求められる資質・能力の育成に取り組まれていることは大変意義深いと考えます。これまでの言語活動、道徳科、総合、キャリア教育に加えて、令和3年度は「GIGA スクール構想元年」として、情報についての9年間一貫したカリキュラムの作成に取り組まれたことは高く評価されます。

・幼児教育との接続について

昨年度に今後の課題として提起した幼児教育との接続について、新規に「目標とする指標」として設定し、就学前の情報共有やスタートカリキュラムの取り組みを進め、さらには、令和4年度から幼小接続推進事業がはじまる予定であるなど積極的な姿勢が高く評価されます。

・ICT教育について

小中教員合同研修において「9年間の情報カリキュラム」を作成し、教員のICT活用の意識が高まるとともに、子どもたちのそれぞれの段階に身につけさせたいスキルを明確にされたことは大変意義深いと感が舞えます。今後もこうした取り組みを継続して、ICT活用による「個別最適化な学び」と社会性・協働性を育む「学び合い育ち合うコミュニティづくり」の両立を目指していただきたいと思います。

(2) 生涯学習・社会教育

村立図書館・舟橋会館など、特色ある社会資源を活用した生涯学習・社会教育の取り組みはこれまでも大きな成果をあげてきたと思います。コロナ禍でなかなか先が見通せない状況のなか、「ふなはしテトラ協働本部」を立ち上げ、地域ぐるみの教育推進について村全体で取り組もうとされていることは大変意義深いと思います。

おわりに

現行の学習指導要領では、「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、地域と学校の連携・協働の推進が重要とされています。舟橋村教育大綱では、「地域学校協働活動の定着」を基本方針に掲げられていますが、大変有意義なことと考えます。

教育や子育て・子育て支援など「人の育ち」に関わる取り組みには、多様な分野の協働、とりわけ、教育と福祉の連携・協力が肝要です。舟橋村では、引き続き地域ぐるみで教育の充実を推進されるのですが、特別な配慮を必要とする家庭(生活困窮家庭等)への対応など、他の担当部局や関係機関とも連携した取り組みにより、多様性・包摂性をもったコミュニティづくりをめざす視点が大切と考えます。

